

 <p>第 38 号【年 2 回発行】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ぎんが工房 障害福祉サービス (就労継続B型・生活介護・日中一時) ● きららベーカリー 障害福祉サービス (就労継続支援B型) ● コスモス 障害者支援施設 (施設入所支援・生活介護・短期入所・日中一時) ● コスモス通所 障害福祉サービス (生活介護) ● びゅー 居宅介護・行動援護・移動支援・日中一時支援 等 ● きらり 放課後等デイサービス ● 相談室りゅうおう 障害児者相談支援・自立生活援助・地域移行支援等 ● 雀のお宿 I・II・III 共同生活援助 ● 雀のお宿 認知症高齢者グループホーム ● おひさま 障害福祉サービス (生活介護) ● らしりば 障害福祉サービス (就労継続支援A型) ● ミラテラス 共同生活援助
	<p style="text-align: center;"> 社会福祉法人 ぎんが福祉会 〒400-0118 山梨県甲斐市竜王 267-3 TEL 055-278-2266 FAX 055-278-2267 </p>

早いもので 四半世紀

おひさま施設長 久保貴洋

就職して四半世紀、思い出すのはぎんが工房での日々。施設長にお願いされ、わらび座(劇団)の招致メンバーとなり、休日にスーパーでソーラン節を踊ったこと。自宅で暴れている利用者さんを連れ出し、ぎんが工房に泊ったことなどなど。その当時は何が必要なことなのかよくわからなかったが、それが普通なのだと思います。 (あまり褒められたことではないですが) できることは何でもやろう! といった雰囲気があり、フットワークも軽快に、利用者さんのニーズに対する行動は早かったように思う。当時は施設、事業所が少なかったこともあり、ぎんが工房(通所施設)だけではなく泊れる施設、親亡き後の生活の場が必要だとなれば、その翌年にはグループホーム(雀のお宿)を開設し、また、グループホームでは障害が重く生活できないとなれば、入所施設(コスモス)建設にも取り組んだ。それぞれの施設建設については、その実際は法人本部の苦労が大きくあったものと推察するが、一職員であった自分は、そうした流れが普通であり、今後も必要に応じて広がっていくのだろうと漠然と考えていた。ただただ、職員、利用者が増えていくことが楽しく、やり甲斐を持ち、いろいろな刺激をもらいながら過ごしていた。そんな空気感が好きでもあった。

さて、つらつらと書いてしまったが、私が伝えたいことは、障害のある方が地域で当たり前のように生活するためにこれらの施設、事業が必要であったということ。ここでいう「必要」とは、障害があっても家族と暮らしたい、生まれ育った町で生活を続けたい、といったニーズに対して、それを補完しうるものとしての仕組み(サービス)、場所、人であったりする「必要性」のことです。ただし、当然のことながら、施設、事業所をつくるだけでは地域生活を支えることはできない。施設、事業所を選んでもらい、利用していただくことで、関係は成立するのです。ぎんが福祉会の存在意義は『地域を支えること』にあります。福祉会の歴史を振り返っても確認できることです。これからも、今まで以上に信頼される法人、事業所を目指し日々努め、普通の生活を支えていけたらと考えます。最後に、(福)「訪問の家」前理事長 日浦美智江氏のお話を紹介し、私からの挨拶とさせていただきます。

1986年、重症心身障害者の通所施設「朋」が開設されました。その当時は、親は我が子の自己実現に自分の自己実現を重ね、親と子は一心同体というのが一般的な「普通」の考えでした。しかし、現在では、親と子は別々の人間であることが「普通」であるとした考えに変化してきています。たとえ我が子に重い障害があっても、親自身の自己実現があることが「普通」なのです。親と子、それぞれの自立です。我が子の幸せは親の幸せであり、親の幸せは子の幸せです。それが「普通に生きる」ことなのです。

🌸🌸🌸🌸🌸 **ぎんが工房** 🌸🌸🌸🌸🌸

《生活介護の活動》

ぎんが工房の生活介護は、4グループに分かれて活動をおこなっています。今回はその中の1グループを紹介します。星グループは月曜日～水曜日を創作活動、木曜日～金曜日に生産活動(働いた時間で工賃支給)を行っています。創作活動では季節のイベント、音楽会、本の読み聞かせ、お菓子作り、外出等があり、利用者の得意、不得意な事を見極めて、出来る事を伸ばせる支援を心掛けています。今回は令和3年10月におこなった「ハロウィン」活動の取り組みを紹介します。

◆10月26日(晴れ)・・・ハロウィンの活動として、衣装づくりをし仮装して施設周辺をパレード(散歩)しました。大きな色付きのビニール袋を利用して、かぼちゃのおばけ・お姫さま・キティーちゃん・フランケンシュタイン・ドラキュラなど思い思いの衣装を作りました。ハサミで切る人、のり付けする人、テープ貼りする人等得意な分野を担当していただきました。出来上がった衣装を着てポーズをとり写真撮影後、ぎんが工房の周りを散歩しました。皆さん、しっかりキャラクターになりきっていました。



《就労継続支援 B 型事業》



平成24年に優先調達推進法が施行され今年で10年を迎えます。令和3年10月には甲斐市より落葉清掃の業務委託を受け仕事を始めましたので、その取り組みを紹介します。

◆令和3年10月～令和4年1月迄の4ヶ月間で30回(1回:2時間30分)、市役所周辺の落葉清掃をしました。内容は、ほうきやブロワーを使い落葉を集め、それを集積場に捨てる仕事です。落葉も枯れた松になると塵取りに入れるまでに時間がかかりました。また、秋から冬にかけておこなった為、気温が低い時や強風の日もありましたが、しっかりカイロを貼り防寒対策も心掛けました。作業をしていると、市役所職員や通行人に対し利用者自ら挨拶をする姿があり、施設の中とは違った成長を感じる事が出来ました。



🌸🌸🌸 **きららベーカリー** 🌸🌸🌸

《クリスマス企画より》毎年11月下旬～12月25日迄の1カ月間、クリスマス商品を販売しています。

今回はシュトーレン・りんごのカントリーケーキ・ガトーショコ・バスクのチーズケーキ・オリジナルマフィン3個入りセット・クリスマスピザを中心に販売しました。

中でも毎年人気の商品が「シュトーレン」です。年々注文数が増え今年度は756本を完売しました。8月よりドライフルーツを漬け込み、11月上旬には第1回目が仕上がり数日間寝かせます。寝かせる事で深みのある商品に仕上がります。一度購入した方は翌年からリピーターになり、中には1人14本購入頂いた方もいました。通常商品より手は掛かりますが、私たちもシュトーレンを作り始めると、クリスマスを感じる季節になります。「きららベーカリーのシュトーレンが何処よりも一番美味しいわ。」というお客様の声を聞くことが、作り手側からすると一番嬉しい言葉です。

これからも、そう言って頂ける商品作りに努めていきたいと思ひます。





コロナが終息しない中ではありますが、ミラテラスの利用者の皆さんは元気に毎日をご過ごされています。日々の健康に感謝をしながらコロナストレスに負けないよう、今後も過ごしていきたいと願うばかりです。



12月、コロナが少し休息をみせた頃合いにクリスマス会を企画。日頃よりイルミネーションが観たいと希望があり、感染対策をとりながら竜王駅のイルミネーション見学と施設での食事会を行いました。数日前より「楽しみだね～」「ご飯のメニューは何かな～」「久しぶりに皆が集まれるね～」と楽しみにされていた分、とても賑やかに楽しい時間を共有し1年を締めくくる事が出来ました。1月には近くの神社に初詣。おみくじで大吉を引き大喜び♪1年間大切なお守りにするとの事でした。2月には健康を願っての恵方巻作り。今年も皆にとって健康で元気に過ごせる1年になる様にと願ってばかりのミラテラスです。



昨年の12月28日に「大掃除」と「慰労会」を行いました。大掃除では各自担当箇所に分かれ、網戸を外して窓を拭くなど、日頃中々手の届かない箇所の掃除をしました。床の汚れが中々落ちず「こうしたら汚れが落ちるかな？」と各自知恵を出し合い、一年間の汚れを落として清々しい気持ちで新年を迎える準備ができました。



大掃除のあとは一年お疲れ様でしたの意味を含め、ささやかながら「慰労会」を行いました。感染対策をしっかり取り、一人ずつお弁当を用意しました。4種類のお弁当があり、職員も含めじゃんけん大会！勝った人から好きなおかずのお弁当を選び「勝った～！」「また負けた～」など一喜一憂しながらお弁当を選ぶのですが、とても盛り上がりました。また、災害時に備え避難食のアルファ米の試食を行いました。実際に作ってみることで、どれぐらいの時間が掛かり、どれぐらいの水が必要になるのかなどが分かり、「普段食べているお米とそんなに変わらないね」などの感想も聞かれました。利用者・職員を含め、全員揃ってとても賑やかな一日となりました。

グループホーム雀のお宿 高齢者

雀のお宿の高齢者の皆さんは、いつもゆったりとした時間の中で過ごされています。天気の良い日は日向ぼっこが気持ちよさそうです。レクリエーションの歌は感染対策で控えているため、ビデオで懐かしのメロディーを聴いたり、体操や折り紙・塗り絵をして楽しんでいます。コロナ禍のため紅葉外出などできませんでしたが、クリスマスにはケーキと手作りの御馳走でクリスマス気分を楽しんでいました。節分には、鬼に豆を投げるなんて出来ない優しい皆さんは、鬼の絵に向けて豆まきを行いました。3月3日のティータイム、おひなさまとのショットが世界一お似合いです。何を話されているのでしょうか。ブラックユーモアで話しかけると大笑いなんてこともあります。全てお見通し、職員も一緒に大爆笑です。「お寿司が食べたいね」と皆さん話しています。コロナ前のように時には食事の外出ができるようになるといいなと思います



グループホーム雀のお宿 障がい者

雀のお宿(障がい者)は3月に2名の新メンバーを迎え17名の大家族です。お兄さんお姉さんといった関係ではなく皆さん対等な関係を持ち協力して暮らしています。いつも仲良くと行きたいところですが、そうはいかないこともあります。家族なのでトラブルも起こります。勝手に自分の部屋に入ってこられた方に大声で怒鳴っていましたが、そのことを職員が謝るようにと話していると、「もう謝らなくていいよ」とかばってあげます。二人でいるときは喧嘩ばかりしているのに、他の方がいると仲良く話をしたりと不思議なものです。入浴が終われば「次、いいよ～」と声をかけてくれたり、洗濯が終われば声掛けて洗剤を入れボタンを押すのを手伝ってくれたり、微笑ましい関係を作っています。体調の悪い方がいるときはとても心配をしてくれます。それぞれの役割や当番の日などがありますが、当番の方が帰省されているときには、「僕がやります」と手を挙げてくださることもあり、とてもほっこりした空気になります。コロナが早く収束し、皆さんで会話を楽しみながら食事が出来る日が早く来ますようにと願うばかりです。



コスモス入所

昨年は出来なかった忘年会を、感染対策を徹底しながら12月に行うことができました。保護者の皆様には面会制限にご協力して頂いているため、利用者と職員での開催となりました。内容はビンゴとビデオ鑑賞です。ビンゴの数字は自分で書いて参加した為、いつビンゴになるかみんなハラハラ・ドキドキ！「中々当たらないねー」「この数字が出たらビンゴだ！」「リーチだ！」と。全員ビンゴになった後には景品のくじ引きです。「何が当たるかな」「一等を当てたい」と盛り上がり、枕やブランケット・ボディクリームなどを手にして、マスク越しですがたくさん笑顔を見る事ができて本当に良かったと思います。コロナ禍で、外出などまだまだ制限がかかってモヤモヤする日々が続きますが、中でもできる事を考えてレクリエーション活動が行えればいいなと思っています。



コスモス通所

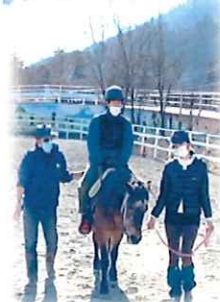
コスモス通所では、新型コロナの感染対策に気を配りながら活動を行っています。コロナ禍のため、ボランティアによる活動や外出などを控えていましたが、季節を感じられる活動を取り入れながら、10月には恒例の運動会を開催しました。種目は「トイレットペーパー綱引き」と「射的」で、点数を競い合い盛り上がりました。また、11月には県立美術館へ紅葉狩りに行ってきました。残念ながら全員の参加とはなりませんが、利用者の皆さんの表情は笑顔にあふれており、落ち葉をお土産に持ち帰りました。なかなか、通常の活動に戻れない日々が続いていますが、感染状況を見ながら少しずつ外出企画も再開していこうと考えています。また、新しいレクレーションを取り入れたり、職員によるリミックなど活動的に、笑顔があふれる通所の時間を提供出来るよう取り組んでいきます。



びゅー

びゅーでは、今回もイベントなど全体で集まることはできませんでしたが、個別で新型コロナウイルスの対策をしながら外出をしてきたので紹介します。

秋には紅葉を見に恩師林公園へ行き、少し散歩をした後に精進湖へドライブに行きました。昼食は車の中でお弁当を食べました。もみじが赤く染まり季節を感じられた一日でした。また小淵沢方面へ電車の写真撮影にも出かけました。天気も良く空もきれいで大好きな電車も撮れて嬉しそうにされていました。また、久しぶりにボーリングへ！1ゲームをして1回ストライクを決め楽しませていました。南アルプス市にある乗馬センターでは、馬に餌をあげたり乗ったりしてきました。馬とふれあい心が癒されリフレッシュできたと思います。今年度も新型コロナウイルス感染者が減ったり増えたりと大変でしたが、びゅーではその都度対応を変えて買い物支援など短時間にしてもらったり、人混みをみながら対応してきました。今後も臨機応変に対応し、来年度も楽しい思い出が増えればいいなと思います。



きらり

きらりでは、今年度も新型コロナウイルスの感染予防のため外出を控えて活動をしています。最近では、寒かったこともあり室内で過ごすことが多かったのですが、ようやく暖かくなってきので子どもたちからも「お散歩に行きたい」という声が聞かれるようになりました。日中の暖かい時間でドラゴンパークにお散歩に行き、梅などの季節の花を見てきました。また、みんな大好きシャボン玉遊びも大好評です！シャボン玉液で手が汚れるのを気にしながらも楽しく遊びました。

春は卒業の季節です。きらりでは今年3名の卒業生がいます。小学生のころからきらりに通っている子どもたちなのでさみしい気持ちもありますが、それぞれ新しい場所で楽しく過ごしてほしいと思います。



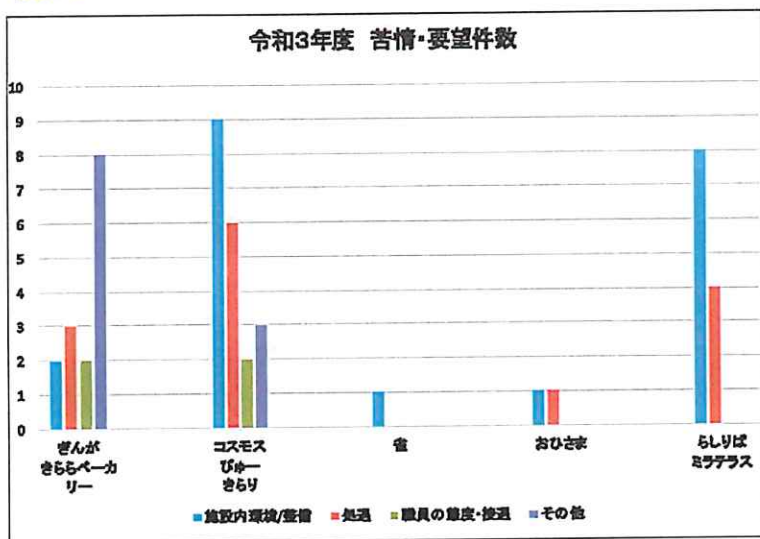
ドラゴンパーク
で記念撮影

皆さまからのご寄付ありがとうございます。

下記の皆様からご芳志をいただき、有効に利用させていただきました。
改めて感謝申し上げますとともに、今後ともよろしくお願い申し上げます。

雨宮緑・石川顕・江波かおる・大久保昶・大塚茂・加藤南海男・加藤健二・斉藤千代子・清水正
須田忠利・竹内良司・館岡精之・戸田美穂・畑日出夫・原田正彦・原山芳秀・樋口京子
福本康之・宮崎則男・(株)アルコ佐藤昇・(株)サンキムラヤ・ネットヨタ山梨(株)・フードバンク山梨
八ヶ岳乳業(株)・山梨クリナーズ酒折・岩島義男・岩島せつ子・小松攻・小松トヨ子

(敬称略 五十音順)



24時間テレビチャリティー委員会様より

福祉車両(トヨタ・ノア)の寄贈をいただきました。大切に使用させていただきます。
ありがとうございました。



令和3年度 利用者・保護者からの苦情・要望

一例として	苦情・要望	施設対応・結果
ぎんが工房 きらら ペーカリー	水筒を持たせているのに飲んだ気配がない。 水分補給はどうなっているのか？	持ってきてもカバンから出し忘れていたことがあること。そういう場合は事業所で用意したお茶を飲んでもらっていると説明している。
雀のお宿	空気清浄機が寒い。	感染対策のために稼働していることを説明し、空気清浄機の設置場所を変更した。
おひさま	利用者が増えたため施設が狭く感じる。 (ソーシャルディスタンスが守れない)	施設内の改修工事を行い、活動スペースを拡張した。
コスモス びゅー きらり	コールを押してもすぐに対応してもらえない。 (コスモス入所)	他利用者の介助等でどうしても遅くなる場合は、コール時に状況を説明し待つようお願いした。できるだけ早く対応するようにしていく。
らしりば ミラテラス	作業時、座っている椅子の座面が固く、元々腰痛があるので改善してほしい。	作業時の椅子を、座面のクッションが厚いものに一部買い替えた。

お知らせ この度、障害者支援施設コスモスの中澤政紀施設長が、ご家庭の都合により退職することになりました。平成14年7月コスモス開所以来、福祉会・施設のためにご尽力いただきました。実直で優しい人柄に職員も利用者もたくさん助けられてきました。長い間本当にご苦勞様でした、そしてありがとうございました。これから始まる新しい人生を職員一同応援していますので、お身体を大切に頑張ってください。 <ぎんが福祉会職員一同>